年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　芸術　　科目 書道Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2 単位

対象学年組：第　1 学年　1 組

教科担当者：

使用教科書：　書Ⅰ（光村図書）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な機能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	書写から書道へ 小・中学校国語科書写と高等学校芸術家書道の学習の違いを確認する。	書写の復習 （書体・筆順・点画・字形・配列） いろは歌（楷・行）硬筆	○	○	○	○	・小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解し、正しく表現できる。 ・国語科書写と芸術家書道の学習の違いを理解し、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
1学期	漢字の書（楷書） ・楷書の特徴を理解し、楷書古典の書風の違いを知る。 ・臨書・鑑賞・創作の学習	初唐の四大家に学ぶ。 楷書の基本（鑑賞）		○		○	・楷書古典の特徴を理解し、書風の違いを書き分けることができる。 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。	○	○	○	2
1学期	方法を理解する。 ・初唐の三大家の作品を臨書する。	初唐の三大家の作品 「孔子廟堂碑」 「九成宮醴泉銘」 「雁塔聖教序」		○		○	・楷書に関心をもち、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	16
1学期											
2学期	漢字の書（行書） ・行書の特徴を理解する。 ・行書の古典を臨書する。	「蘭亭序」		○		○	・行書古典の特徴を理解している。 ・行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 ・行書に関心をもち、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	26
2学期											
3学期	仮名の書 ・平仮名と変体仮名を理解する。 ・和歌一首を短冊に書く。	「高野切第三種」			○	○	・平仮名と変体仮名を理解している。 ・仮名の書の基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身につけている。 ・仮名の書に関心をもち、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	14
3学期	生活の中の書 筆ペンで書く。	表書きの書き方	○	○	○		・用具・用材の特徴と表現効果の関わりを理解している。 ・目的や用途に即した効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和した表現を身につけている。 ・生活の中の書に関心をもち、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6 合計 70